

## 植物多様性センターの「毛槍の正体」

スズメノヤリはイグサ科の植物です。花茎を伸ばし先端に頭花をつけた様子が、大名行列の「毛槍」に似ることが和名の由来です。植物体を見ると、カヤツリグサ科に間違えそうですが、花を見ると全く構造が違ふことがわかります。花は6枚の花被をもつ両性花で、6本のおしべと3岐しためしべをもちます。めしべが先に熟し、そのあとでおしべが熟す雌性先熟で、同花受粉をふせぐための花の構造になっているのです。



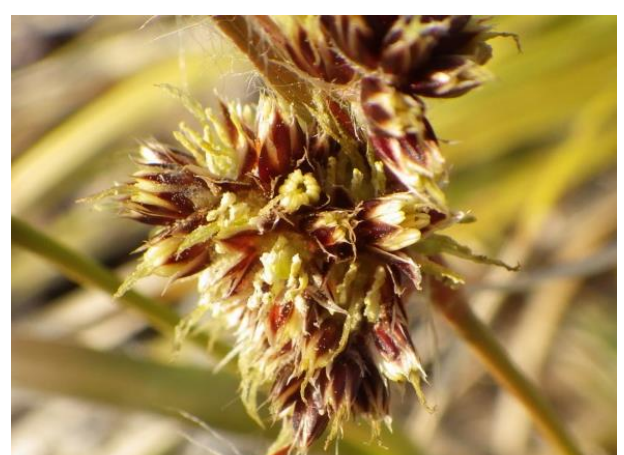
スズメノヤリ: 開花とともに多数の花茎が伸長し、毛槍に似る



雌性期: 花は開かず、まだめしべの先が伸びているだけ



雄性期のはじめ: 花が開き、6本のおしべと中心に子房が見える



雄性期の終わり: 葯が開いて花粉が放出されたところ